

礼拝奨励要旨

2012年7月8日
東岡山キリスト教会 堀内幸二郎長老

『信仰は恐れを超えて』

ヨシュア2：1～14

はじめに

1. 信仰の人ラハブ

- a. 「主がこの地をあなたがたに与えておられること、私たちはあなたがたのことで恐怖に襲われており、この地の住民もみな、あなたがたのことで震えおののいていることを、私は知っています。」ヨシュア 2:9
- b. 「あなたがたがエジプトから出て来られたとき、主があなたがたの前で、葦の海の水をからされたこと、また、あなたがたがヨルダン川の向こう側にいたエモリ人のふたりの王シホンとオグにされたこと、彼らを聖絶したことを、私たちは聞いているからです。」ヨシュア 2:10
- c. 「あなたがたの神、主は、上は天、下は地において神であられるからです。」ヨシュア 2:11

2. 信仰による行い

- a. 「同様に、遊女ラハブも、使者たちを招き入れ、別の道から送り出したため、その行いによって義と認められたではありませんか。」ヤコブ 2:25
- b. “ラハブは人間を見ていたのではなく、神を見ていたのである。この信仰の証拠は、彼女が自分の命の危険を冒して二人の探り手を泊めたことである。” (カルバン)
恐れを超えて決断

c. 小さな抵抗 殺戮を拒んだ日本兵

戦場においても人を殺してはならないという信仰を曲げなかったキリスト者 渡部良三氏

- ・「捕虜殺すは天皇の命令」の大音声 眼するとき教官は立つ
- ・すべもなき われの弱さよ 主の教え 並みいる戦友に 説かず たちいつ
- ・祈れども 踏むべき道は唯一つ 殺さぬことと 心決めたり
- ・縛らるる 捕虜も殺さぬ意気地なし 国賊なりと つばをあびさる
- ・地に額をつけ 子の生命を乞う 母の望み断たれぬ さるぐつわにて
- ・むごき殺し 拒める新兵の知れたるや 「渡部」を呼ぶ声のふえつつ
- ・村人のまなざし温し いと小さき わがなしたるを 誹ることなく
- ・小さき村の辻をし行けば もの言わず 梨さしいだす 老にめぐりぬ

3. 信仰による祝福

- a. ラハブに属する家族の救い
- b. イエス・キリストの系図の中に

まとめ